



## 【性能】

### 1. 性能

#### (1) 感度

- (ア) 生理食塩水を試料として操作した場合の濁度変化量は0.0023/min以下です。
- (イ) インスリン濃度20 $\mu$ IU/mLの標準血清または標準血漿を試料として操作した場合、濁度変化量は0.0030~0.0380/minの範囲内です。

#### (2) 正確性

既知濃度の管理用血清又は管理用血漿を測定するとき、測定値は既知濃度の $\pm 15\%$ 以内です。

#### (3) 同時再現性

同一試料を5回同時に測定するとき、吸光度のC.V.値は10%以下です。

#### (4) 測定範囲 (例示: 日立7170形自動分析装置使用)

1.0~100.0 $\mu$ IU/mLです。

#### (5) 較正用基準物質

NIBSC (66/304, 1st International Standard) WHO 準拠

## 【使用上又は取扱い上の注意】

### 1. 取扱い上 (危険防止) の注意

- (1) 試料にはHBウイルス等の感染性微生物が存在することがあるので、感染の危険性があるものとして、取扱いには十分注意してください。
- (2) 本品中には防腐剤として0.09 (W/V) %アジ化ナトリウムが含有されています。誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当てを受けてください。

### 2. 使用上の注意

- (1) 使用期限の切れた試液は使用しないでください。
- (2) 試薬の開封後はなるべく早く使用し、保存する場合は蓋を閉めて指定の条件で保存してください。
- (3) 本品中の容器、付属品は他の目的に転用しないでください。
- (4) 緩衝液及びラテックス試液は、測定前に軽く転倒混和した後、所定の位置に正しくセットしてください。泡立っている場合は泡を取り除いて測定してください。
- \* (5) ロットの異なる試薬を混ぜ合わせて使用しないでください。なお、同一ロットであっても、試薬の注ぎ足しはしないでください。
- (6) 検量線は測定ごとに作成してください。また、検量用試料は、それぞれ2回以上測定してください。
- (7) 検量用試料は別売品を使用してください。なお使用に際しては別売品の現品説明書を参照してください。
- (8) 試液は必ず冷蔵(2~10 $^{\circ}$ C)保存し、凍結保存は避けてください。

### 3. 廃棄上の注意

- (1) 本品中には防腐剤として0.09 (W/V) %アジ化ナトリウムを含有しています。アジ化ナトリウムは鉛管、銅管と反応して爆発性の強い金属アジドを生成することがありますので、廃棄する場合には大量の水で洗い流してください。
- (2) 試料にはHBウイルス等の感染性微生物が存在することがあるので、使用済みの試料、試薬容器、器具等は滅菌、消毒(0.5%次亜塩素酸ナトリウム溶液)、焼却等で処理してください。
- (3) 試液及び器具などを廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。

## 【貯蔵方法・有効期間】

1. 貯蔵方法: 2~10 $^{\circ}$ C
2. 有効期間: 製造後1年  
使用期限は外装に記載してあります。

## 【包装単位】

品名	包装	
LASAY オートインスリン	緩衝液 (R1)	40mL x 1
	ラテックス試液 (R2)	20mL x 1

## 【別売】 LASAY オートインスリン用

品名	包装
インスリン標準品	6 濃度 x 1mL x 1 本
インスリンコントロール	2 濃度 x 2mL x 3 本

## 【主要文献】

- 1) 井村裕夫ほか: 人体成分のサンプリング、ホルモン(講談社) 130-153、1974.
- 2) 亀井俊朗ほか: 臨床化学、35(1): 48-53、2006

## \* 【お問い合わせ先】

デンカ株式会社 試薬学術担当  
〒103-8338 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号  
フリーダイヤル 0120-206-072

\*\* 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日・弊社休業日を除く)

販売元

\* **デンカ株式会社**

新潟県五泉市木越字鏡田1359番地1

\*\* 製造販売元



**株式会社 シマ研究所**

〒174-0063 東京都板橋区前野町3-36-3  
TEL: 03-3967-7277